



100年分のありがとう



うるおいある未来のために。

News Release

2025年2月25日

肥後銀行創立100周年記念事業～第4弾～ 「第116回 熊本交響楽団定期演奏会」への特別協賛について

2025年7月25日に創立100周年を迎える肥後銀行は、100周年記念事業第4弾として、下記のとおり、熊本交響楽団定期演奏会へ特別協賛いたしますのでお知らせします。

当行は、100周年スローガンのもと、地域のお客さまに100年の感謝を伝え、当行が起点となり地域とお取引先とを繋ぐ場、未来を担う若い世代の輝く場の創出を目指してまいります。

記

1. 「第116回熊本交響楽団定期演奏会」概要

日 程	2025年5月11日（日）
会 場	熊本県立劇場コンサートホール
出 演	指揮：垣内 悠希 ピアノ独奏：金子 三勇士
プログラム	阿蘇神社復興記念交響曲「蘇」より ～未来への誓い「蘇」～／寺嶋民哉 ピアノ協奏曲第1番／チャイコフスキー 交響曲第5番／ショスタコーヴィチ

公演の詳細につきましては、別添のチラシをご覧ください。

2. その他の創立100周年記念事業について

第1弾：[熊本大学とのネーミングライツ事業実施（2024.4.5 リリース）](#)

第2弾：「肥後銀行100周年記念植樹」実施（2025.2.25 リリース）

第3弾：くまもとSDGsミライパーク グランドオープン（2025.2.25 リリース）

今後も、創立100周年を記念した様々な事業を随時実施してまいります。

詳細が決まり次第、改めてご案内いたしますので、引き続きご注目ください。

以 上

参考

【熊本交響楽団について】

1965年11月、当時熊本大学フィルハーモニーオーケストラの指揮者であった合谷春人氏（故人）や熊本県警音楽隊長を務めていた出田憲二氏（平成音楽大学創設者・故人）の呼び掛けにより結成された市民オーケストラ。

1966年5月に県立図書館ホール（現県立美術館別館）で第1回定期演奏会を開催以来、年2回の定期演奏会を軸に活動。

全国アマチュアオーケストラフェスティバル熊本大会や国民文化祭などの全国的な催しのほか、中国やアメリカ、ヨーロッパへの演奏訪問、東京での新幹線誘致コンサート、恒例となった県民第九の会演奏会、県内各地での移動公演など、地域に根差した幅広い活動を展開。

現在は音楽の専門家をはじめ、会社員や公務員、主婦などさまざまな職業の団員約150人で構成。1974年熊本県文化懇話会新人賞、1984年文化庁地域文化功労者表彰、1990年くまもと県民文化賞、2011年熊本県芸術文化祭奨励賞および第9回公德賞、2017年熊本芸術文化学術振興市民財団奨励賞を受賞。

熊本音楽連盟、(社)日本アマチュアオーケストラ連盟加盟団体。



第116回

熊野

阿蘇神社復興記念交響曲「蘇」より
～未来への誓い「蘇」～

／寺嶋民哉

ピアノ協奏曲第1番

／チャイコフスキー

交響曲第5番／ショスタコーヴィチ

2025年

5月11日(日)

16時開演
(15時15分開場)

熊本県立劇場コンサートホール

指定席 2,000円 自由席(一般:1,500円 学生:1,000円)

※障がいのある方ご本人と介助の方は、各券種500円割引いたします(当日窓口販売のみ)。
なお車椅子席のご利用が必要な方は下記連絡先までお問合せ下さい。

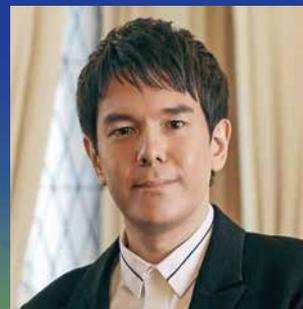
主催／熊本交響楽団

特別協賛／ 肥後銀行

後援／熊本県・熊本県教育委員会・熊本市・熊本市教育委員会・
NHK熊本放送局・RKK・TKU・KKT・KAB・FMK・FM791・
熊本日日新聞社・熊本音楽連盟・熊響後援会



かきうち ゆうき
指揮 垣内 悠希



かねこ みゆじ
ピアノ 金子 三勇士

チケットのお求めは

県立劇場、熊日プレイガイド(びぶれす6階)、大谷楽器の各プレイガイドへ ※大谷楽器は自由席のみ
4歳未満のお子様のお入りはご遠慮ください。託児所を開設しますのでご利用ください。【事前予約要(演奏会一週間前メ切)・有料(500円)】
4歳以上の未就学児については、学生券をご購入のうえご入場下さい。

お問い合わせ・託児所予約／090-4772-9090



指揮 垣内 悠希

Yuki Kakiuchi
Conductor

2011年ブザンソン国際指揮者コンクールに優勝して国際的注目を集める。これまで、フランス国立ポルドー＝アキテーヌ管弦楽団、イル・ド・フランス国立管弦楽団、ブリュッセル・フィルハーモニー管弦楽団、ミュンスター交響楽団、サンクトペテルブルク交響楽団、ウィーン室内管弦楽団、チリ交響楽団などを指揮。国内では2012年に東京フィルハーモニー交響楽団定期演奏会を指揮して東京デビュー、ブラームスの交響曲第2番が「鋭敏な色彩感覚の反映された名演」と評された。その後も全国各地のオーケストラに客演を重ねている。2013年、ミュンスター歌劇場でオペラ・デビュー。同年、小澤征爾氏の強い推挙を受けて小澤征爾音楽塾オーケストラを指揮して好評を博した。近

年は紀尾井ホール室内管弦楽団、愛知室内オーケストラにデビュー、ロームミュージックフェスティバル「フィガロの結婚」&「セビリヤの理髪師」（ハイライト）での名演も記憶に新しい。
東京生まれ。6歳よりピアノを、14歳より指揮の勉強を始める。これまでに小澤征爾、佐藤功太郎、レオポルト・ハーガー、ヨルマ・パヌラ、ジャンルイジ・ジェルメッティ、エルヴィン・アッツェル、イザーク・カラブチェフスキー、湯浅勇治の各氏に師事。
2001年東京藝術大学楽理科を、2009年ウィーン国立音楽大学指揮科を首席で卒業。次いで2011年同音大劇場音楽科特別課程を修了。2016年より3年間札幌交響楽団指揮者を務め道内各地で共演を重ねた。

ピアノ

金子 三勇士

Miyuji Kaneko
piano



©Seiichi Saito

1989年日本人の父とハンガリー人の母のもとに生まれ、6歳で単身ハンガリーに渡りバルトク音楽小学校に入学。
2001年からは11歳でハンガリー国立リスト音楽院大学（特別才能育成コース）に入学。
2006年に全課程取得とともに帰国、東京音楽大学付属高等学校に編入する。東京音楽大学を首席で卒業、同大学院修了。
2008年、バルトク国際ピアノコンクール優勝の他、数々の国際コンクールで優勝。第22回出光音楽賞他を受賞。
これまでにゾルタン・コチシュ、小林研一郎、ジョナサン・ノット他と共演。国外でも広く演奏活動を行っている。

NHK-FM「リサイタル・パッショ」に司会者としてレギュラー出演の他、テレビ、ラジオなど多数のメディアに出演。コロナ禍では、オンラインを活用したさまざまな企画を発信。
2021年に日本デビュー10周年を迎え、2022年3月にサントリーホールでソロ・リサイタル「原点×挑戦」を開催。同年、ドイツ・グラモフォンより新譜CD「フロイデ」もリリースした。2024年4月に発足した「日本＝ハンガリー未来プロジェクト」のエグゼクティブプロデューサーに就任。
キシュマロシュ名誉市民。スタインウェイ・アーティスト。

オフィシャルHP <http://miyuji.jp/>

熊響HP

インスタグラム

Facebook

熊響のSNSでは日頃の練習の様子や活動の情報などを発信しています。ぜひ、ご覧ください。

